

CSRレポート 2018

ECHIGO NATURAL GAS LTD.
CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY
REPORT 2018



CONTENTS

越後天然ガスの
CSR・SDGs

p.04

01

環境への貢献

p.05

02

地域社会への貢献

p.08

03

安全安定供給
への取り組み

p.12

04

働きがいのある
職場づくり

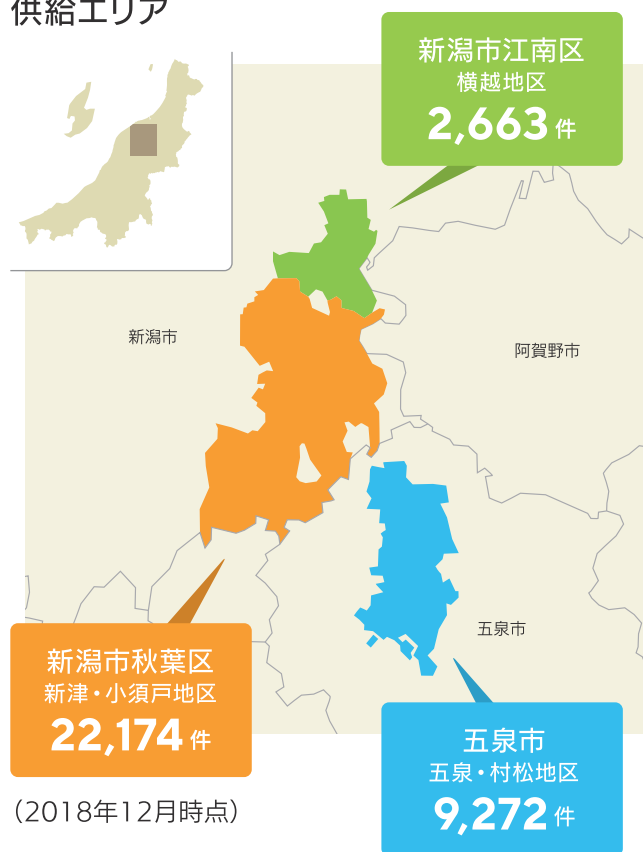
p.14



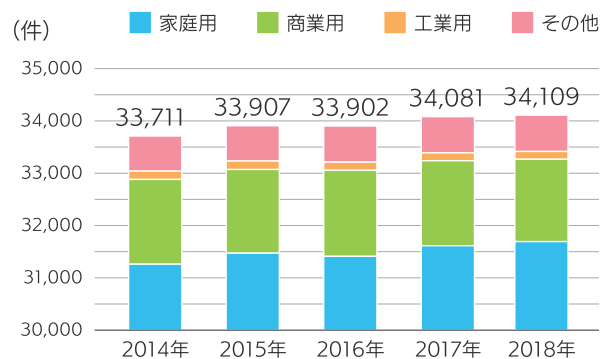
会社概要

設立	1932年8月31日
代表者	小出 薫
資本金	1億8千万円
主な事業内容	都市ガス事業、ガス工事の施工、 ガス機器の販売
供給区域	新潟市秋葉区、江南区の一部、五泉市
従業員数	45名(2018年12月時点)

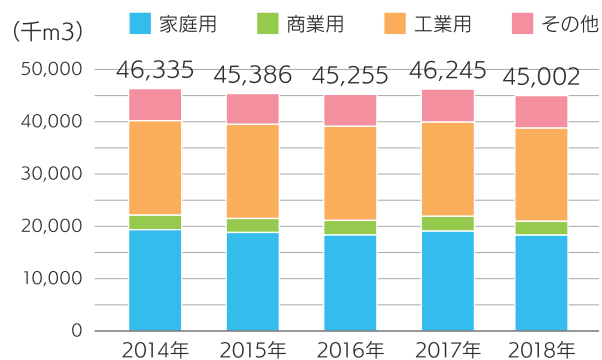
供給エリア



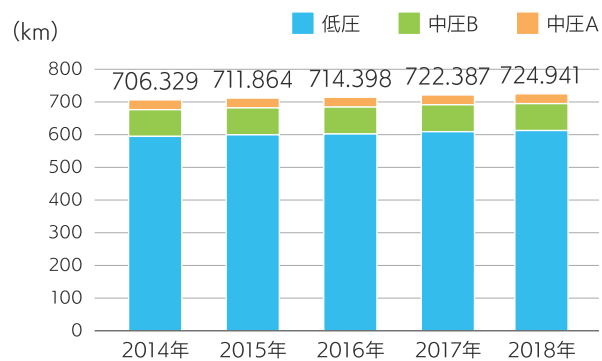
お客さま件数



ガス販売量



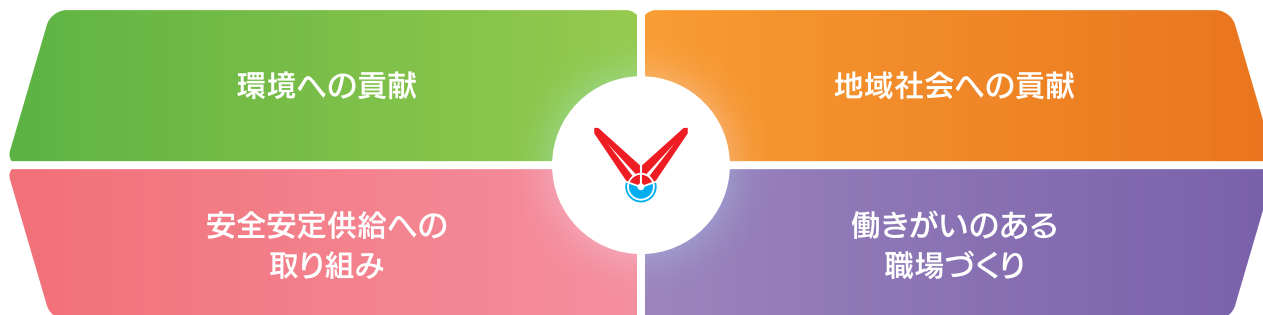
導管延長



CSR

越後天然ガスのCSR

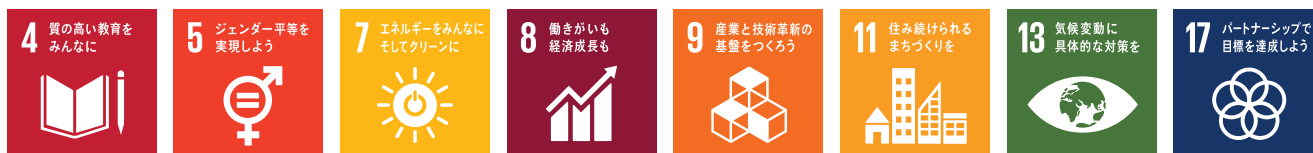
越後天然ガスは持続的な会社の成長に加え、エネルギー会社としての知見を活かして社会が抱えている課題に積極的に取り組んで行くことを経営の重点項目として位置づけています。CSRの取り組みとして、具体的な実施項目を「環境への貢献」「地域社会への貢献」「安全安定供給への取り組み」「働きがいのある職場づくり」と定め、これらの活動を推進することにより、持続的な社会の構築に貢献することを目指しています。



SDGs

越後天然ガスとSDGs

2015年の国連サミットにおいてSDGsが採択されました。越後天然ガスはSDGsが掲げる17の目標を企業が取り組むべき重要な課題と認識しています。17の目標の内、特に注力して取り組む項目は以下の8項目としています。



SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



01

環境への貢献

CONTRIBUTION FOR
ENVIRONMENT

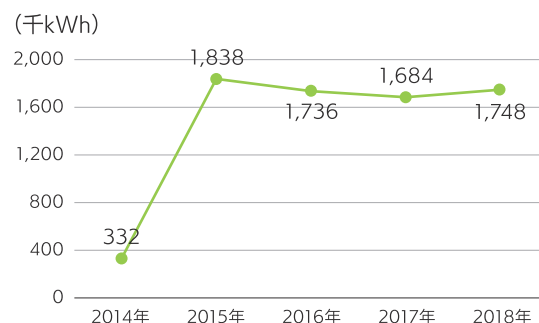


再生エネルギーの導入促進



太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスといった再生可能エネルギーは温室効果ガスを排出しないクリーンなエネルギーとして注目されています。また、分散型電源の重要性が高まる中、今後は地産電源としての役割も期待されています。越後天然ガスは2014年に1500kWの太陽光発電所（五泉メガソーラー）を建設しました。同年に30kWと50kWの太陽光発電所も建設しており、2018年12月現在、合計で1580kWの太陽光発電施設を保有しています。再生可能エネルギーの開発調査は継続しており、地域社会に貢献する再生可能エネルギー発電施設の導入を目指しています。

太陽光発電量



五泉メガソーラー「エネルギーの丘・五泉」

五泉メガソーラーは、五泉市村松工業団地に建設された最大発電能力1500kWの太陽光発電施設です。2014年10月より発電を開始しており、一般家庭430戸分の電気を賄うことができます。2018年のCO₂の削減量は年間867トンとなり、これは、約6.2万本分の杉の木が1年間に吸収するCO₂の量に相当します。

※CO₂の削減効果を試算する場合の係数には、東北電力の2017年の排出係数0.523kg-CO₂/k-Whを使用しています。 ※杉の木のCO₂吸収量原単位=13.9kg-CO₂/年・本（林業白書H9より50年杉直径26cm・樹高22m）

天然ガス普及による環境負荷の低減

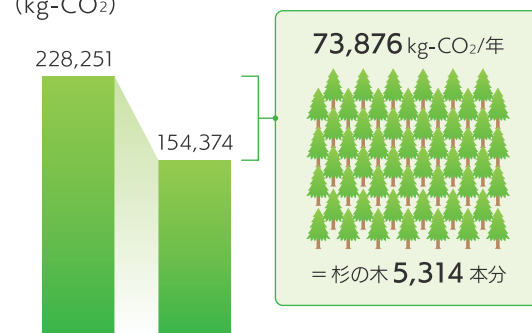


天然ガスは石油や石炭に比べ燃焼時における二酸化炭素の発生量が少ない為、環境負荷の小さいエネルギーと位置付けられています。越後天然ガスは、都市ガス利用の促進を通して環境負荷の低減を行っています。

地球にやさしい天然ガス

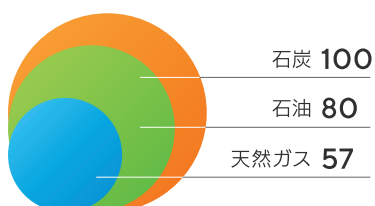
天然ガスは化石燃料の中でCO₂排出量が最も少ないエネルギーです。また、光化学スモッグの原因となるNO_x（窒素酸化物）の発生量が少なく、大気汚染の原因となるSO_x（硫黄酸化物）は発生しない環境特性に優れたエネルギーです。

燃料転換における過去3年間のCO₂削減量 (kg-CO₂)

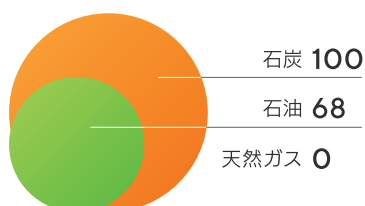


石炭を100とした場合の排出量比較

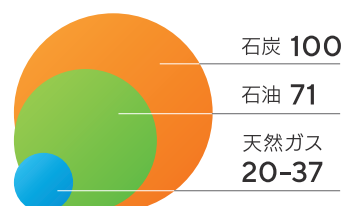
■ CO₂ (二酸化炭素)



■ SO_x (硫黄酸化物)



■ NO_x (窒素酸化物)



省エネ機器の普及による環境負荷の低減

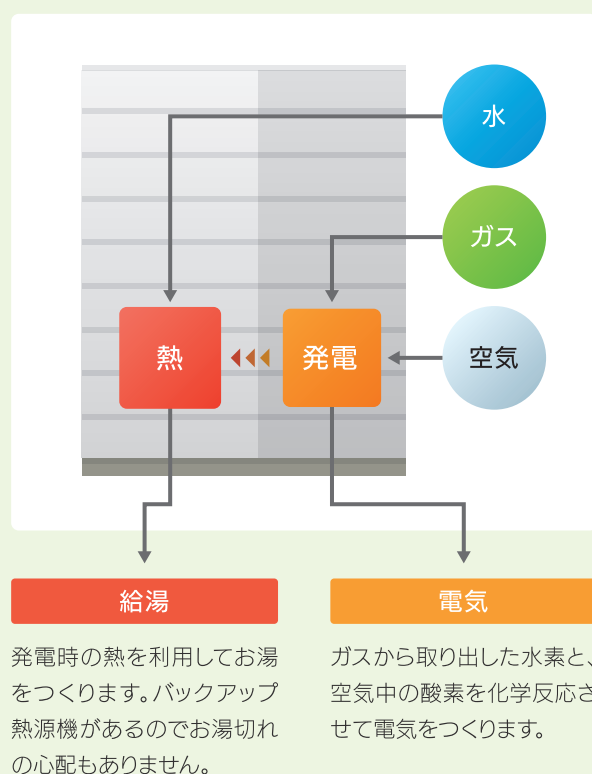


都市ガスを使用する省エネ機器は数多くありますが、代表的なものとしてコージェネレーションシステムが挙げられます。コージェネレーションシステムは一つのエネルギーから複数のエネルギーを取り出すシステムであり、ガスコージェネレーションシステムは都市ガスを燃料として、発電時に出る熱で蒸気や温水を発生させるシステムです。

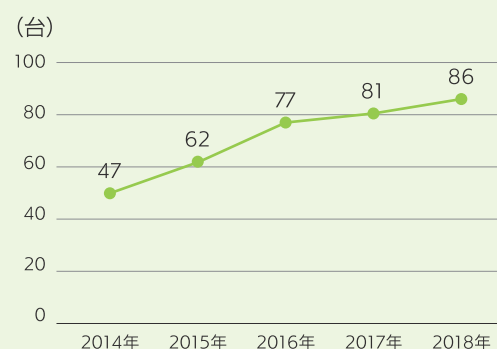
エネファーム

エネファームは、家庭用のガスコージェネレーションシステムです。クリーンエネルギーである都市ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させることで発電します。また、発電時の熱は給湯に使用され、エネルギーを無駄なく使用します。

エネファームによる発電



エネファームの普及状況



02

地域社会への貢献

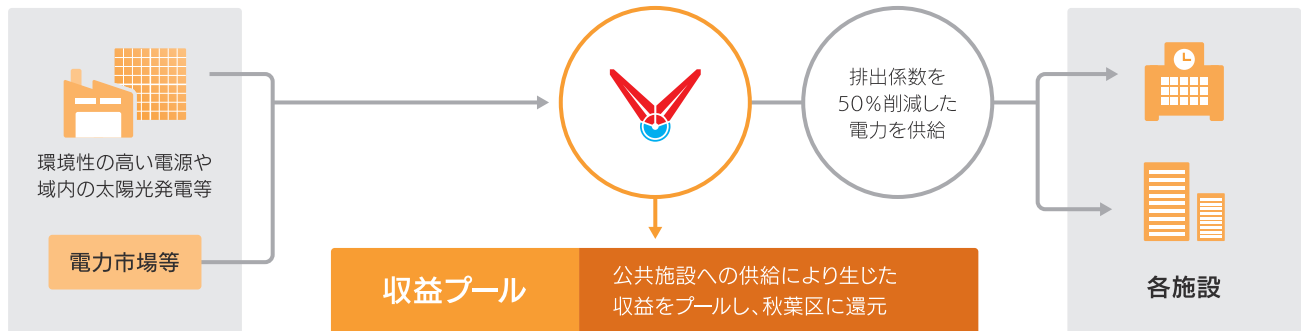
CONTRIBUTION FOR
COMMUNITY



秋葉区公共施設に対する電力供給



越後天然ガスは2018年10月に新潟市と「持続可能な低炭素まちづくりに関する連携協定」を締結しました。協定に基づき、2019年3月から秋葉区の公共施設へCO₂排出係数を50%削減した電力を供給します。また、電力事業から生じた事業収益は秋葉区に還元され、里山の保全や環境対策に使われる予定です。越後天然ガスは、この取り組みを通じて秋葉区が掲げる「田園型環境都市の実現」を経済と環境面からサポートしていきます。



POINT 01 電力料金の割引

- 供給対象施設の毎月の電気料金を削減
 - 〈従量電灯B・C〉基本料金、従量料金ともに一定額割引
 - 〈高圧・動力〉基本料金、従量料金ともに一定額割引

POINT 02 残余利益の還元

- 電力事業の収益を秋葉区へ還元
 - 里山の保全事業に活用
 - 地域サービスに活用

POINT 03 CO₂排出係数の削減

- 供給する電気のCO₂排出係数を50%削減
 - 田園型環境都市の実現に貢献

POINT 04 地産地消の推進

- FIT期限切れの地元再エネ電源の買取の実施
- 地産電源の取り込み

持続可能な 低炭素まちづくりに関する 連携協定について

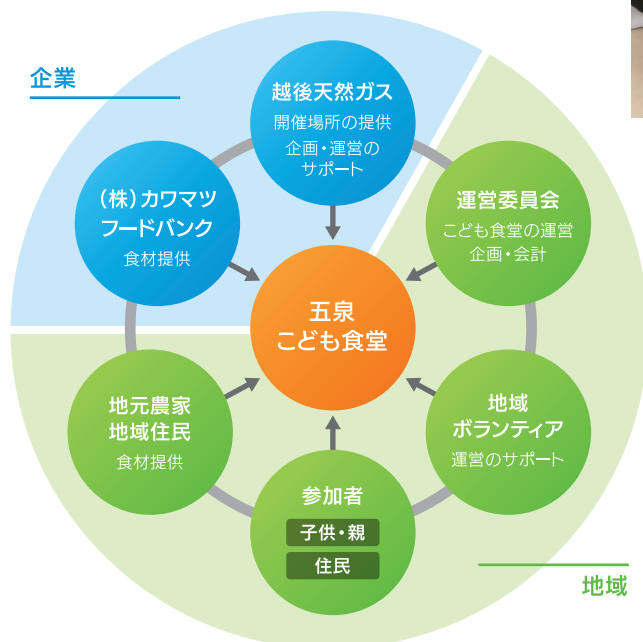
連携協定はSDGsの考えをベースに作られており、越後天然ガスと新潟市が協力して秋葉区の低炭素なまちづくりや地域の活性化に取り組むことを目的としています。協定内容は右記の7項目となります。

- 1 エネルギーの地産地消に関すること
- 2 低廉なエネルギーを公共施設に提供すること
- 3 低炭素なエネルギーの調達やエネルギーデータの活用により、地域におけるエネルギーの最適化を進めること
- 4 学校等における環境エネルギー教育に関する啓発活動を実施すること
- 5 事業収益を活用し、地域振興に資する事業を行うこと
- 6 地域の防災機能強化を図ること
- 7 その他前条の目的達成につながる事項

子ども食堂



近年は共働きの家庭が増えている等の理由から、1人でご飯を食べる子どもが増えています。越後天然ガスでは、このような孤食の解決と子どもたちに地域との触れ合いを深めてもらいたいという思いから、五泉市において子ども食堂の立ち上げを企画、我々と同じ思いを持つ方々の協力もあり、2018年12月に「五泉こども食堂」をオープンしました。



五泉こども食堂のしくみ

五泉こども食堂の運営は五泉こども食堂運営委員会が行い、越後天然ガスは運営業務のサポートと五泉ショールームを開催場所として提供しています。また、料理に使う食材はフードバンク様、新潟県内でスーパーを展開している株式会社カワマツ様、地元の方々から提供を受けています。開催日は運営委員会の方々だけではなく、多くのボランティアの方に協力を頂いており、地域が一体となった取り組みとなっています。

INTERVIEW

五泉こども食堂は子ども達だけではなく様々な世代の人が参加しており、みんなでごはんを食べながら楽しいひと時を過ごす場となっています。参加した方からは、「新しい友達ができ良かった」「料理がおいしかった」などのお声を頂いており、大変うれしく思っています。特に、子ども達がおいしそうにごはんを食べている姿を見ると、このような取り組みを企画して良かったと思います。提供する料理は地元でとれた旬の食材を使っていますので、みなさんには季節



木伏 ケイ子さん
五泉こども食堂 代表

の味を楽しんで欲しいですね。今後は、五泉こども食堂を通じて、人と人とのつながりを広げていきたいと考えています。



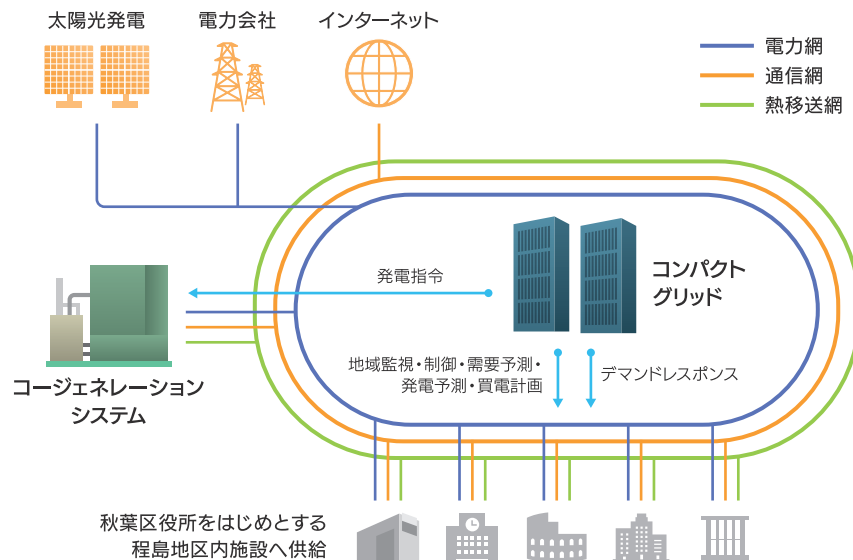
面的推進事業



越後天然ガスは2017年度に新潟県の補助金交付を受け、秋葉区役所を中心とした程島地区でエネルギーの面的利用に関する事業調査を行いました。この調査は2018年度も継続して行っており、調査で得られたデータや知見を今後のまちづくり活かしていきたいと考えています。

秋葉区面的活用促進事業とは

この事業は、秋葉区程島地区にガスコージェネレーションシステムと太陽光発電設備を導入して、電気供給と熱供給事業が成り立つかを調査することを目的としています。事業計画では、需要施設と供給施設をICT（情報通信技術）により連携させたエネルギーマネジメントシステムの導入を予定しており、先進的な取り組みとなっています。また、事業可能性調査の他、コージェネレーションシステムと再エネ設備を導入することによる環境への効果や、BCP（事業継続計画）に対する効果なども調査対象に加えています。



出張授業



未来を担う子ども達に環境やエネルギーに関することを学んでもらう為、越後天然ガスでは出張授業を小学生向けに実施しています。プログラムは「火育（ひいく）」と「エコ・クッキング」の2種類を用意しており、どちらも体験型の授業となっております。

火育



ライフスタイルの変化により、火の扱い方を知らない子ども達が増えています。このプログラムは実験を通して火の性質や取扱についての理解を深めることを目的としています。

エコ・クッキング



調理の仕方だけではなく、買い物から後片付けまでの一連のプロセスを通して環境に優しい料理の方法を学びます。日々の生活に活かせる知識が多いプログラムです。

03

安全安定供給への取り組み

EFFORTS FOR
STABLE SUPPLY



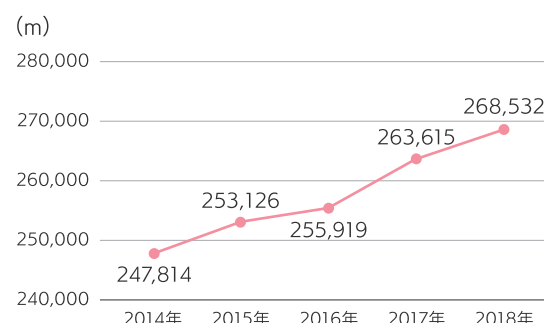


災害に強いインフラ網の構築

インフラ網の強靱化はガス事業者にとって最重要課題の一つです。越後天然ガスは経年ガス管を耐震性・耐食性に強いポリエチレン管に入れ替えることにより、災害に強いガス管網の構築に努めており、低圧導管の耐震化率は93.7%（2018年末）となっています。

* 低圧導管の耐震化率の全国平均は88.8%（2017年末）であり、都市ガスの保安対策の方向性を示す「ガス安全高度化計画」では2025年までに耐震化率を90%にすることを目標にしています。

ポリエチレン管延長推移

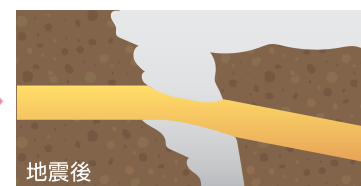


ポリエチレン管の特徴

ポリエチレン管は耐久性と柔軟性を兼ね備えており、腐食の心配がなく、曲がっても折れることはありません。大きな地震でも破損することがないため、安全性が高く、ガス漏れを防ぐことができます。過去の大地震の際にも、その高い耐震性が証明されています。



地中のポリエチレン管



地割れや段差が生じても破損しにくい

お客さまの安全

越後天然ガスはお客さまのガス設備に対する安全性向上のために、様々な取り組みを行っています。

業務用換気警報器（COセンサー）設置の取り組み

越後天然ガスは業務用厨房等でガス消費機器をお使いのお客さまが、安心して都市ガスをお使いいただくために、一酸化炭素（CO）中毒を防止するためのCOセンサーを無償貸与しています。この取り組みの結果、対象となるお客様の100%がCOセンサーを設置しています。

■ 業務用換気警報器（COセンサー）設置割合



お客さま都合により
設置していない場合を除く

2018年12月時点

安全なガス機器の普及に向けた取り組み

越後天然ガスは非安全型機器をご使用のお客さまに安全な機器への取替えをお勧めすることで、お客さまのガス設備の安全性向上に努めています。2018年12月現在、浴室内設置CF式風呂釜の残存件数は6件、不完全燃焼防止装置が付いていない小型湯湯沸器と金網ストーブの残存件数は0件となっています。

■ 浴室内設置CF式風呂釜残存件数

6 件

■ 不完全燃焼防止装置が付いていない小型湯湯沸器と金網ストーブ残存件数

0 件

2018年12月時点

04

働きがいのある職場づくり

IMPROVEMENT OF
WORK ENVIROMENT

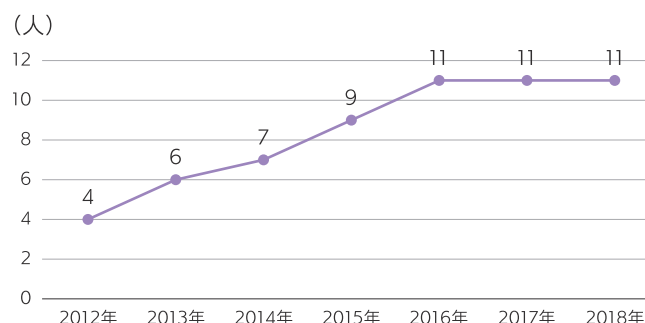


ダイバーシティの取り組み



近年、多くの企業でダイバーシティの取り組みが行われ、女性の活躍が目立っています。越後天然ガスにおいても、会社の持続的な成長は女性社員の活躍なしには達成できないという考えのもと、女性が働きやすい職場づくりに取り組んでいます。また、女性社員の採用も増やしており、現在はすべての部署において女性社員が活躍しています。ダイバーシティの取り組みでは、年齢性別に限らず、多様性を尊重できる組織文化の構築を最終目標としています。

女性社員数の推移



ワークライフバランスの向上

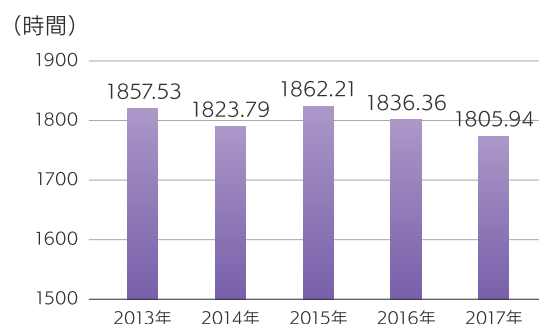


仕事と生活の調和があってはじめて、社員はやりがいを持って仕事に取り組むことができます。社員が仕事とプライベートを両立するには、管理職の意識改革や会社の制度変更など、現在のライフスタイルに適應した仕組みを作らなければいけません。越後天然ガスは社員がワークライフバランスを保つことができるよう、様々な取り組みを行っております。

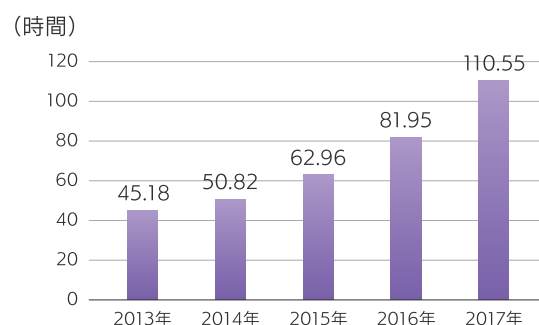
ワークライフバランス向上の取り組み



年間総労働時間



有給休暇取得時間





越後天然ガス

ECHIGO NATURAL GAS LTD.

〔 総合企画部 総合企画グループ 〕

〒956-0031 新潟県新潟市秋葉区新津4516

TEL = 0250-24-2171 FAX = 0250-24-2170

www.echiten-gas.co.jp

2019年3月発行